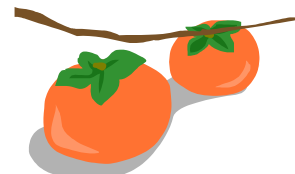


千電協だより

第53号

2007年10月1日発行



- ① 平成19年度 千葉県県土整備部との合同震災訓練
- ② 海匝地域整備センター 水防訓練
- ③ 香取地域整備センター 水防訓練
- ④ 千葉地域整備センター 水防訓練
- ⑤ ポジティブアクション推進セミナー
- ⑥ 男女共同参画推進絡会議 第1回合同部会 連携会議
- ⑦ 1級電気工事施工管理技士(学科)検定試験について
- ⑧ 普通救命講習会
- ⑨ 千葉県からのお知らせ
- ⑩ 防災応急対策 連絡網変更
- ⑪ 事務局からのお知らせ
- ⑫ 会員消息
- ⑬ 会務報告
- ⑭ 読者からのフォトコーナー
- ⑮ 編集後記



平成 19 年度

県土整備部との合同震災訓練報告

防災・安全委員会

平成 19 年 8 月 31 日

今年の震災訓練が 8 月 31 日（金）と決まり、協会に連絡が入ったのは 8 月 1 日（水）でした。その日の午後、事務局から各会員の皆様方に「事務局のお知らせ」としてメールで取り急ぎ日時を連絡しました。9 月になってからと考えていたので予想が外れた感じです。恐らく国の防災訓練が 9 月 1 日（土）に開催されるため、県はその前日に設定したものと想定されます。

さて、毎年行なっております県との合同訓練も今年で 4 回目を数え、協会会員にもかなり定着してきたと考えています。今年も昨年度と同様、地震の訓練想定は「千葉県北西部を震源域とする直下型地震で、規模はマグニチュード 7.2 浦安市の一部で震度 6 強（第 5 配備）」というものですが、8 月 31 日当日は、協会の実施要領に従って協会事務局に災害応急対策本部を設置し、役職員等参集訓練、本部審議訓練、情報収集・伝達訓練などを実施しました。今年から災害応急対策連絡網の組織変更や県からの連絡ルートの変更、また防災・安全委員も新しい担当となったことなどから多少の戸惑いもありました。しかし、しばらく電話の受け答えをしているうちに要領がつかめ、「電業協会災害応急対策本部です。」と受けるようになり、それなりの雰囲気が出ていました。



千葉県電業協会事務局内
災害対策本部

今回の訓練では、県からのパトロールなどの要請を、方面主任から協会対策本部に変更したので、一時的に要請連絡が殺到したため対応に苦慮しました。また、情報伝達訓練では班長から各班員あて平行に FAX 送信することになっていますが、中には班員間の送り連絡と勘違いしていて連絡が遅れたところもあり、いくつか今後の反省点が残りました。また事前の準備段階では各出先機関との調整などで、方面主任の方々には大変ご苦勞をおかけしましたが、無事訓練を終了することができました。委員会としまして心から感謝申し上げます。そして、また訓練に参加された多くの会員の方々にも謝意を表しますとともに、有事の際にはこの教訓を生かしていただき、より一層のご協力を賜りますようお願い致します。



訓練の指揮を執る並木本部長と防災・安全委員、初動要員の方々



平成 19 年度

海匠地域整備センター管内 水防訓練

日時：平成 19 年 6 月 27 日（水）

場所：匠瑳市堀川地先・堀川浜

参加者：海匠地域整備センター、匠瑳市、旭市の各職員

匠瑳市横芝光町消防組合職員

旭市消防本部職員

（社）千葉県建設業協会八日市場支部会員

（社）千葉県建設業協会銚子支部会員

（社）千葉県電業協会会員

参加者総計 148 名

千電協参加者；大嶋防災・安全委員長、横川香取・海匠方面主任、田中防災情報連絡員、野口海匠班長、鈴木電設、山口電気商会、山内事務局長（7名）

真夏を思わせる好天となった 27 日、昨年度と同じ堀川浜で定刻の 13 時 30 分から開始された。海匠地域整備センターの鶴岡所長、建設業協会八日市場支部及び銚子支部の各支部長の挨拶のあと、万が一に備え「AED（自動体外式除細動器）を使用した心臓マッサージ」などの応急手当について消防職員から指導があった。二手に分かれてそれぞれ AED の使用方法や、人口呼吸法の人形を使用しての実地訓練であったが、にわか仕込みの訓練では手順など思うように行かず参加者の多くが苦戦していた。続いて 4 班に分かれて土嚢作り作業が開始され、約 1,000 袋を目標に参加会員も暑い中の作業に汗だくになりながら取り組んでいた。次に出来た土嚢をシート上に積み重ねる「改良 3 段積み工法」に取り掛かり、4 班それぞれの出来栄が評価された。

電業協会としては今回で 3 回目の参加となるが、当協会会員は情報伝達訓練を担当、センターの衛星携帯電話を使用して各班の「土嚢作りの完了状況報告」並びに「改良 3 段積み工法の完了状況」について、センターから貸与された災害時優先携帯電話を使って写メール送信の訓練を行なった。

実際の災害時には、センターに優先携帯電話を取りに行く時間など無いだろうから、本来的には事前に受信アドレスを周知させ、会員の携帯電話を利用した訓練の方がより効果があったのではと感じられた。



人口呼吸法の実地訓練（海匠地域）

平成 19 年度

香取地域整備センター管内 水防訓練

日時：平成 19 年 6 月 21 日（木）

場所：香取市佐原・利根川河川敷

参加者：千葉県香取地域整備センター、香取市、神崎町、東庄町の各職員
香取広域市町村圏事務組合消防本部職員
千葉県建設業協会香取支部会員
千葉県電業協会会員

参加者総計 113 名

千電協参加者；大嶋防災・安全委員長、横川香取・海匠方面主任、斉藤香取班長、
鈴木電設、砂原電気工業所、高岡電気、山内事務局長（7名）

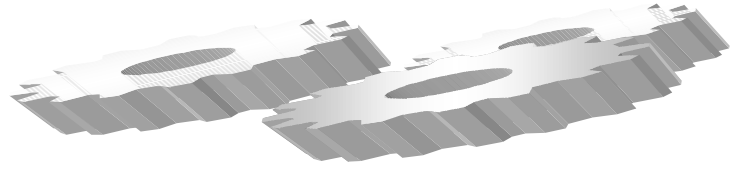
水防訓練としては好天に恵まれ、風もあまりない蒸し暑い日の午後 2 時から開始された。

香取地域整備センターの吉野所長、建設業協会香取支部の石井支部長などの挨拶のあと、消防本部職員から 4 種類の縄の結び方指導があり、参加者の多くは馴れない結び方に戸惑いながらも真剣に練習していた。続いて土嚢 500 袋造り作業には参加会員も汗だくになりながら取組んでいた。最後は 3 班に分かれて土嚢を使用した噴出水の処理工法「釜段工」の作成設置が、消防本部職員らの指導により行なわれ、それぞれの出来栄が評価された。

電業協会としては、センターからの要請で「水防時の電気の取り扱い」について説明することとなり事務局長が対応した。協会としてこの地区の訓練には初めて参加することから、まず参加会員の紹介と県との防災協定の締結・災害応急対策連絡網などの概要を説明した後、「簡単な電気の取扱い」について東京電力パンフレットの一部を参考に「濡れた電気器具の不使用」「切れて垂れ下がった電線には触れない近づかない」「避難時の分電盤ブレーカの断」「地震を感じたら器具のスイッチを切る」「アース（接地線）は完全に接続」などの内容を約 20 分程度説明し、東電グッズの「でん子ちゃんペンシル」を子供さんのいる参加者に配布し終了した。



縄の結び方の訓練（香取地域）



平成 19 年度

千葉地域整備センター管内 水防訓練

日時：平成 19 年 7 月 19 日（木）

場所：千葉市若葉区大宮町地先・都川遊水地付近

参加者：千葉地域整備センター職員

（社）千葉県建設業協会千葉支部会員

（社）千葉県電業協会会員

事務所・現地参加者総計 72 名

千電協参加者；鈴木防災・安全副委員長、小池千葉 1 班長、協電工業、鈴木電気、
岡田電気工事、大秋電気工業、山内事務局長（7 名）

梅雨明けが待たれる 19 日、朝から曇り空ではあったが、雨の心配はなく暑くも寒くもない訓練には最適の日である。訓練内容は昨年度とほぼ同じ形であるが、訓練会場は千葉市内で千葉東 JCT 近くの都川遊水地付近であり、このところの雨天続きで地盤が良くなく、一部水に浸かりながら足場の悪い状態での訓練であった。予定では、会場は 10 時開始となっていたのに 15 分前から既に開始されており、どこの整備センターでも同様に早めの開始傾向があるように感じた。

情報伝達訓練で、写メールについては当協会会員だけと思っていたが、一部建設業協会会員も実施しており、中には写真を前の日に撮っておいた者もいたようである。

当協会会員の場合は写メール担当を 5 名の方々にお願いしており、9 時からの出勤要請と同時に手順どおり情報送信を行い、ほぼ 10 時までには全員が会場に集合した。また、センターでも写メールの 5 名分の受信が確認された。

千葉地域整備センター田邊所長の挨拶のあと、二手に分かれて土嚢作り作業を開始、70 袋あまりを作り次に土嚢 3 段積みを実施し訓練作業を終了した。

他の整備センター管内と比較すると、都市部の場合の水防訓練は取組みが甘いように感じられた。しかし千葉市内の場合は、過去の災害から既に対策が講じられていたということかもしれない。



土嚢作り作業（千葉地域）



ポジティブアクション推進セミナーに参加して…



総務・経営委員会

高橋 幸一郎

秋の夜長皆さんいかがお過ごしですか。
実は私、今年の夏に「ポジティブアクション推進セミナー」に参加いたしました。

個々の企業において、男女の役割分担意識や過去の経緯から『営業職に女性はほとんど配置されていない』『課長以上の管理職は男性が大半を占めている』等の差が男女労働者の間に生じています。

このような現状を打破するために生まれたのが「ポジティブアクション」というものです。勤続年数の長い女性が管理職になることが少数である今「3年間で女性管理職20%増加」という目標を掲げています。

この「アクション」に取り組んだ企業には多くのメリットがあるようです。ほんの一部ですがご紹介いたしましょう。職場環境の向上雰囲気良くなった。活気が出た。従業員意識、仕事の満足度、チャレンジ意欲、責任感などの向上。女性が積極的に意見を述べるようになった。業績評価の向上、顧客ニーズに対応できた、就職希望者、投資家からの企業評価の向上などである。

<こんなにメリットがあるのに取り組まない企業があるのはなぜか!?!>
女性の仕事がお茶くみ、コピーなど簡単で単調なもの 結婚などですぐやめる
企業は女性社員に対して熱心に教育しない。といった悪循環により良いイメージがない。しかし「ポジティブアクション」導入により、女性が頑張れば男性も頑張る 売り上げアップ モチベーションの向上となります。社会情勢、取引先にも好感触なのはいうまでもありません。以上が「ポジティブアクション」の概要です。

私の会社は電気設備工事を行っている会社です。内容はビル、マンション、学校などの照明、電気設備、現場の仮設などが主な内容です。男性ばかりで女性といっても、事務をしている姉くらいのもの。ハードな内容が多いため、社員募集の広告にも訓練校の見学にも女性を採用することは、はなから考えていませんでした。ところが、このセミナーを受けて少し変わりました。やる気の

ある女性はたくさんいて、歯がゆい思いをしている人が多いということを感じました。私の職場で考えると確かに、重い電線、鉄板を持ち上げることは困難です。しかし、事務を始め、在庫の整理、道具の手入れなど女性ならではの繊細なところを生かした内容の仕事もたくさんあることに気づきました。

よくよく思い出してみると現場に書類を持って行ったとき、女性の柔らかな対応は好感が持てます。ゴツイ熊のようなおっさんが無愛想に対応するのとでは帰りの足どりも違います。

女性を採用することで更衣室、女性用のトイレなど新たな出費もあります。しかしそれを大きく超えるメリットがあると、私は考えます。ある施設のアンケートに「女性客を獲得するにはまずトイレから」というのを見たことがあります。そのトイレはカーテンが、ドア代わりという男性の私でも不快に思いました。現場のトイレなど正直、不衛生です。男性も女性の視点に変えて物事を見てみれば、それは「ポジティブアクション」の一步かもしれません。



ポジティブアクション推進セミナー
(平成19年7月4日 ポートプラザちば)



男女共同参画推進連絡会議

第1回合同部会

日時：平成19年7月23日（月）

場所：ポートプラザちば

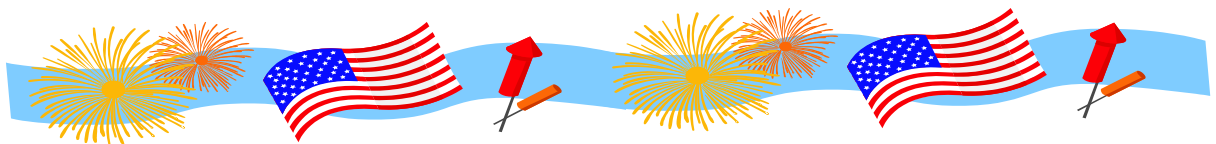
レポート

総務・経営委員会 長谷川由喜枝

平成19年7月23日 第1回 千葉県男女共同参画推進連携会議が、ポートプラザちばにおいて開催されました。この会は「産業」「地域」「教育」の三部会から構成され、現在70団体の加入があり、当協会は「産業団体」の部会に所属しているところです。

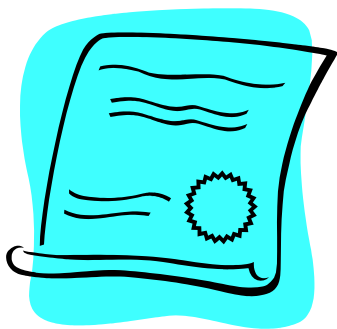
共同参画を推進するにあたり、県は 女性の採用・登用や職域拡大のため、職業生活と家庭生活等の両立を支援するため、男女共同参画・職場作り等の取組みを称え、広く紹介することにより、促進を図ると言うことをテーマにしています。

“なぜ 男女共同参画の形成なのか”～仕事と生活の調和を中心に～ の講演から始まり、トップの本気 上司の本気 そして女性の活用の場をどのように進めるか 受賞事業所の取組みなどが紹介されました。その後、部会ごとの集まりとなり各社紹介から始まり、部会長、新役員等が選出され、和やかな雰囲気の中に閉会しました。





1級施工管理技術者検定試験について



株式会社 木村建設

大平 知倫

私は今年1級電気工事施工管理技術試験を受けることになりました。

この資格は、電気工事業をやるにいたって安全で質の高い工事を施工するため必要な資格というのは知っていましたが、テストの内容は知らなかったもので、最初テキストを配布されたとき、テキストの厚さに圧倒されました。建設業センターで講習を受けることになっていたのですが講習が終わってから勉強を始めたほうが効率が良いと思っていたので、講習が始まるまで一切テキストには手を付けずにいました。

講習は5月18日(金)から20日(日)までの3日間、建設業センター3階会議室にて行われました。

天候は晴れで、窓を開けると快適な風が心地よく、講師の方々も時々冗談をまじえながら楽しく講習を受けることができました。

講習が終わった翌日から、講師に教わった重点箇所・過去問題から出題される可能性の高い項目等を中心に勉強を始めました。

講習を受ける前と受けた後での心境の変化は

受ける前：時間的にこの量は無理だ

受けた後：要点だけ覚えるならなんとかなりそうだ

勉強も気楽に進めることが出来ました。

試験当日、試験地まで電車で1時間30分くらいかかるので車内でテキストの過去問題をやっていたらテストにて同じ内容の問題が2問出たのでラッキーでした。

テストの結果から考えると車内で偶然覚えた2問が合否の左右を握る大事なキーポイントだったと思わずにはいられません。

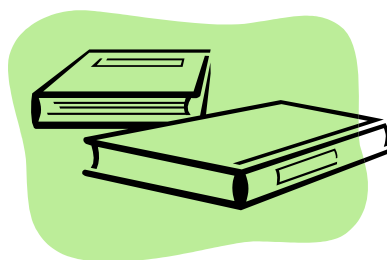
7月13日に学科試験の発表があり無事合格することができました。

電業協会ならびに講師の皆様には色々とお世話になり深く感謝いたしております。

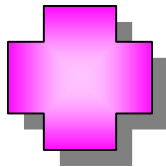
まことにありがとうございました。

次は、10月に実地試験を控えております。

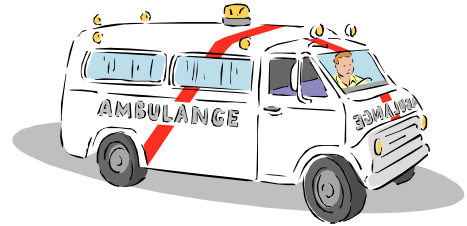
現在、実地試験に向けて、会社の諸先輩にアドバイスをいただきながら勉強に取り組んでおります。



大平さん、実地試験頑張ってください！（編集部）



普通救命講習会



レポート

玄海電設工業株式会社 大浦 政伸

日時：平成 19 年 9 月 26 日（水）

場所：佐倉市佐倉消防署

暑さも落ち着いた、秋晴れの日、佐倉消防署で「普通救命講習会」が行われました。当日は、大嶋委員長、山内事務局長を初め、14名の会員の方が参加されました。

講習は4名の佐倉消防署の方により、負傷者発見時の初動前の注意事項～人工呼吸、心肺蘇生法。「AED」という機器の使用方法。負傷者に外傷がある時の対処法や、負傷者が蘇生した時の体勢など、

PVを使って説明があり、その後、消防署の職員による実演。そして1人ずつ人形を使って実習が行われました。説明を聞いている時は、当然分かっている。当たり前だ。と思っている事でも、実際に行ってみると、慌てや、緊張からか、思っていた様には出来ませんでした。「人形相手にこの調子では、実際にそういう場面に出くわしたら、ちゃんと出来るのだろうか。」と考えてしまいました。そして、そういう時こそ冷静に、落ち着いて、行動する事が大事なんだと思いました。

皆様もAEDという機器を知っていると思いますが、私はこの講習で初めて触り、どんな物か解りました。今までの知識では、怖くて使えなかったと思います。でも今は、誰でも冷静に、機器のアナウンス通りに行えば、簡単に使えるすばらしい機器だと思います。皆様も機会があれば、一度触れてみた方が良いでしょう。

この機器が街のあちこちに置かれ、使い方の解る人が増えれば、沢山の人の命が救われるだろうと思います。

佐倉消防署の講師の方々、親切な指導、有難うございました。



防災・安全 大嶋委員長の挨拶



講習風景「人工呼吸」



講習風景「心肺蘇生法」



講習風景「AED 取扱方法」

千葉県からのお知らせ

入札契約制度の改善について

(平成19年10月)

本県では、これまで公正で透明性・競争性の高い入札・契約制度を確立するため、様々な入札契約手続きの改善に努めてきたところですが、より一層の改善を図るため平成19年10月から、さらに次のとおり実施することとします。

1 一般競争入札の拡大について

競争性や調達手続きの透明性の一層の向上を図るため、一般競争入札の対象を拡大する。

段階的な拡大を目指すこととし、5千万円以上に拡大して実施することとする。また、実施状況を検証のうえ、更なる拡大について検討を進める。

実施時期 平成19年10月1日以降の公告から適用

(1) 地域要件の設定について

一般競争入札を拡大して実施することに伴い、地域産業の育成にも配慮しつつ、一般競争入札の参加条件の一つとして、次のとおり地域要件の設定を行う。

ア 競争性の確保

適正な競争性を確保するため、応札可能者を20者以上確保できる地域を設定する。

イ 設定の方法

原則として、現行の事務所管内を基本とし、必要な応札可能者を確保するため、隣接する事務所管内等に拡大して設定する。

なお、同一等級区分によることを原則とするが、必要に応じて直近上位又は直近下位の等級に格付けされた者を含めて設定することができる。

また、特殊工法等を必要とする工事で県内業者が施工できないものについては、地域要件を設定しない。

ウ 談合の起こりにくい環境づくり

地域要件の設定に当たっては、入札に参加できる者が固定することのないように配慮することとする。

(2) 事後審査方式の導入について

一般競争入札の拡大に伴い、適切な事務執行体制を確保するため、入札参加資格事後審査方式を導入することとする。

2 総合評価方式の拡充について

一般競争入札の拡大と合わせ、不良不適格業者の排除と品質の確保のため、品確法に則り、経済性と技術力等価格以外の要素を総合的に判断する総合評価落札方式の入札の適用を拡大する。

段階的に適用工事を拡大して実施することとし、平成19年10月から5千万円以上の工事を対象に実施することとする。

実施方針は次のとおりとする。

(1) 1億円以上の工事は原則実施する。

5千万円以上1億円未満の工事については、緊急性を要する工事や技術的工夫の余地が小さい工事等を除き実施する。

(2) 地元での施工実績などの地域精通度や、災害時の活動などの地域貢献度による地元業者に対する評価を行う。

3 ペナルティーの強化について

不良不適格業者の排除について、談合等の不正行為に対しては毅然たる姿勢で臨む。

(1) 指名停止措置要領の改正

平成19年10月以降の指名停止について、県内での談合等の不正行為によるものに対し、指名停止期間を最低12ヶ月以上、最長24ヶ月へと延長する。

実施時期 平成19年10月1日

(2) 談合特約の改正

平成19年10月以降の契約案件について、談合等に起因する損害賠償額を契約額の10%から20%へ増額する。

実施時期 平成19年10月1日以降の契約

4 指名業者選定基準の改正

指名競争入札においても一層の競争性を確保するため、建設工事における指名業者の数を増やす。

発注金額	指名業者数
1,000万円未満	6以上
1,000万円以上1億円未満	8以上
1億円以上2億円未満	10以上
2億円以上	12以上

発注金額	指名業者数
1,000万円未満	9以上
1,000万円以上	12以上
-	-
-	-

実施時期 平成19年10月1日以降の指名通知

災害応急対策連絡網の変更及び訂正について

東葛地区連絡網



1. 防災・安全委員会担当副会長(副本部長)は、当面富田副会長が兼任されます。

2. 変更及び訂正事項 (以下の事項の訂正をお願いします。)

(担当)	(会社名)	(変更対象)	(変更事項)
千葉方面主任	株増田電気工業所	電話番号	(正)043 - 231 - 5531 (誤)043 - 231 - 5331
千葉3班	新東電設工業株	会社名	(正)新東電設工業株 (誤)新東電気工事株
千葉6班	株櫻田電設	削除	(6/30退会)
市原方面主任	株三和電設	電話番号	(正)0436 - 45 - 3555 (誤)0436 - 43 - 5531
市原2班	株尾高電工	FAX番号	(正)043 - 208 - 4750 (誤)043 - 228 - 4750
東葛方面主任	渡辺電機水道株	方面主任	(新任)鈴木 和男
"	株三矢電設	"	(解任)渋谷 史朗 (9/10退会につき削除)



事務局からのお知らせ

下半期スケジュール

- 10月 16日 東総地区オーナー懇話会
 - 17日 南総地区オーナー懇話会
 - 18日 葛南地区オーナー懇話会
 - 19日 東葛地区オーナー懇話会
 - 22日 千葉地区オーナー懇話会
 - 24日 安全パトロール(防災・安全委員会)
-
- 11月 20日 安全衛生大会
技術講習会



各種証明について

経営事項審査申請及び入札参加資格申請の加入証明の用紙については、
協会ホームページ → 会員専用ページ → 委員会情報から
プリントアウトできます。

また、経営事項審査申請に添付する証明の『審査基準日』は、
経営事項審査申請をする日の直前の事業年度の終了日
となりますのでご注意ください。



会 員 消 息

代表者変更

(正会員)

(株)新千葉電設 平成 19 年 7 月 3 日

新 > 代表取締役 染谷 光孝

旧 > 染谷 芳雄

千葉電気工事(株) 平成 19 年 8 月 1 日

新 > 代表取締役 松下 宏哉

旧 > 喜多村 賢一郎

(資)砂原電気工業所 平成 19 年 7 月 6 日

新 > 代表取締役 中野 淳

旧 > 砂原 虎雄

住所等変更

(正会員)

小峯電業(株) 平成 19 年 10 月 2 日

新 > 〒 2 6 4 - 0 0 3 6

旧 > 〒 2 6 4 - 0 0 2 4

千葉市若葉区殿台町 1 2 7 - 1

千葉市中央区高品町 1 0 3 0 - 3

電話 0 4 3 - 2 9 0 - 0 0 3 8

電話 0 4 3 - 4 2 4 - 2 6 6 6

FAX 0 4 3 - 2 9 0 - 0 0 3 9

FAX 0 4 3 - 4 2 4 - 2 6 6 3

退会会員

(正会員)

(株)桜田電設

平成 19 年 6 月 30 日

(株)三矢電設

平成 19 年 9 月 10 日

訃 報

(正会員)

(有)島野電気

代表取締役 島野 章

実母 島野 フミ 様

享年 9 6 歳

平成 1 9 年 1 0 月 2 4 日

会 務 報 告

平成 19年 6月

日	曜日	内 容	場 所	出 席 者
1	金	建産連正副会長会議 建産連理事会	建産連 建産連	会長 会長
6	水	空調PJ部会	協会会議室	富田副会長、委員長、委員5名
7	木	関東地方整備局入札契約に関する講習会	渋谷フォーラム8	常務
8	金	香取地域整備センター水防訓練事前打合せ	香取地域整備センター	横川方面主任、常務
12	火	常任理事会 理事会	協会会議室 協会会議室	常任理事4名 理事10名
13	水	空調工事打合せ	協会会議室	濱名理事、富田委員、高岡電機店
14	木	災害応急業務配布及び挨拶 佐藤のふあき第3回役員会 夷隅・安房方面 防災説明 山武・長生方面防災説明 千葉県電気協会 総会懇親会	夷隅・安房方面 塚本大千葉ビル 3ヶ所 2ヶ所 鬼怒川	黒木方面主任、鎌田委員 常務 黒木方面主任、鎌田委員 土屋方面主任、橋本委員 富田副会長
15	金	建産連 総会懇親会	オークラ千葉H	会長、常務
18	月	空調工事中間・完成検査 千葉銀行打合せ	千葉女子、千葉南 協会会議室	濱名理事、常務
19	火	海匝地域整備センター水防訓練事前打合せ 東葛方面防災説明	海匝地域整備センター 7ヶ所	横川方面主任、常務 渋谷方面主任、舘道委員
20	水	新千葉電設告别式 千電協だより52号 HP掲載	セレモ穴川ホール	常務理事
21	木	香取地域整備センター水防訓練	佐原利根川河川敷	委員長、方面主任、香取班4名、常務
26	火	空調衛生工事業協会総会懇親会	オークラ千葉H	会長、常務
27	水	関東地区協議会 海匝地域整備センター水防訓練 佐藤のふあき後援会総決起大会 各団体決起大会(自民党)	東京電業会館 野手海岸 Hグリーンタワー千葉 オークラ千葉H	会長 委員長、方面主任、連絡員、海匝班3名、常務 富田副会長、土屋、会員
28	木	県打合せ 印旛方面 防災説明	県庁 2ヶ所	常務(ハトール他) 大嶋委員長、佐藤委員
29	金	印旛、香取・海匝方面防災説明 千葉市原方面防災説明	4ヶ所 3ヶ所	佐藤委員、田中連絡員 南山方面主任、西鳥羽委員、大浦連絡員

平成 19年 7月

2	月	千葉方面防災説明	4ヶ所	鈴木理事
4	水	ポジティブアクション推進セミナー(総務・経営委員会) 総務・経営委員会	Hポートプラザちば 協会会議室	委員長、副委員長、委員5名 委員長、副委員長、委員5名
5	木	千葉方面防災説明	1ヶ所	鈴木理事
6	金	千葉地域整備センター水防打合せ、県庁	千葉地域整備センター他	常務理事
9	月	電設協 経営企画委員会	電設協	輪湖副会長
10	火	常任理事会、積立金PJ 東葛方面防災説明	協会会議室 5ヶ所	常任理事4名 市東・椎名委員
11	水	(資) 砂原電気工業所告别式参列	香取市 法界寺	常務理事
13	金	君津方面防災説明	3ヶ所	濱名方面主任、岩田連絡員
18	水	電子納品講習会(建産連)	教育会館	会員11名、常務

19	木	千葉地域整備センター水防訓練	都川遊水地	千葉方面6名、常務
23	月	男女共同参画 第1回合同部会 県打合せ(2級講習)	ポトプラザちば 県庁	長谷川総務・経営委員 常務理事
24	火	防災・安全委員会	協会会議室	委員長、副委員長、委員2名
26	木	公益法人制度改革セミナー	幕張 富士通	土屋事務局員
30	月	新会計基準セミナー	千葉文化センター	土屋事務局員

平成 19年 8月

3	金	千葉県電気協会 電気安全講演会	三井ガーデンホテル千葉	常務理事
8	水	県打合せ(安全パトロール)	県営繕課	常務理事
21	火	県打合せ(候補者、だより依頼)	県土整備部	常務理事
30	木	上期監査	協会会議室	副会長、委員長、監事3名、事務局
31	金	震災訓練	県内	本部・初動要員12名、各方面

平成 19年 9月

3	月	産廃排出事業者説明会	船橋市役所	地区会員
4	火	入札制度・総合評価落札方式説明会	オークラ千葉H	会員53名
11	火	常任理事会、積立金pj 産廃排出事業者説明会	協会懷疑室 君津合同庁舎	常任理事3名 地区会員
12	水	産廃排出事業者説明会	東葛飾合同庁舎	地区会員
13	木	産廃排出事業者説明会	山武成東文化会館	地区会員
14	金	産廃排出事業者説明会	御宿町公民館	地区会員
18	火	産廃排出事業者説明会	印旛合同庁舎	地区会員
19	水	電設協 理事会 電設協 経営企画委員会 産廃排出事業者説明会	Hグラントハレス Hグラントハレス 北総教育事務所	会長 輪湖副会長 地区会員
20	木	産廃排出事業者説明会	館山市コミュニティセンター	
21	金	公共工事労務費調査に係る建設労働者の 賃金台帳推進に関する説明会	ポトプラザちば	会員9名
25	火	現場代理人業務特別講習会 産廃排出事業者説明会	東京電業会館 長生合同庁舎	地区会員
26	水	普通救命講習会 産廃排出事業者説明会	佐倉消防署 北総県民センター	委員長、副委員長、委員2名、会員12名、常務理事
27	木	TCK全国会 公益法人セミナー	ハルサル九段	常務理事

読者からのフォトコーナー

私の趣味・私の自慢 というテーマで読者の皆様から投稿いただきました。
たくさんのご応募、ありがとうございました。

自慢のBike



年甲斐も無く、って笑わないで下さい。

年に数回、中年ライダー仲間と各地の美味しい料理や、
温泉巡りのツーリングに出かけることが楽しみの一つです。

***** 並木鷹男 *****

自慢の息子



ナオくんです。
3歳になりました。

***** 匿名希望 *****

自慢の車



ブジョーと私

***** 高橋幸一郎 *****

山とわたし



私の趣味は山登りですので、最近の一枚を送信させていただきます。

冬を迎える前の木曾御嶽山です。皆さんご存知の信仰の山ですが、頂上は荒涼とした岩石と今も噴煙をあげている活火山です。天気が良くても3000m級の高度では、10月初旬でも防寒着が必要でした。しばらく振りの良い天気に恵まれた山行で、仲間とともども気分も大満足！

***** 山内伊与治 *****

花とわたし



私の趣味は「お花の観賞とガーデニング」です。
旅行の企画は「お花がある事とゴルフが出来る事」を第一条件としています。
10月2日～11月4日開催「全国緑化フェアふなばし」に花壇制作と地域の皆様の街角フェアにボランティアとして参加しました。
この写真は当社のスタッフと共に制作した花壇です。

***** 輪湖葆子 *****



先日、佐倉消防署で行われた普通救命(AED)講習会に参加してきました。

AEDは、日本に導入されるまでの悲しい経緯があった後、平成16年7月から一般市民も使用できるようになった機器です。

最近では駅や公共施設で見かけますが、実際に手に取って見たのは初めての事でした。AEDとは突然心肺停止状態に陥った時、電気ショックを与えて正常な状態に戻す医療機器です。AEDと人形を用いて使用方法を先ずは見せていただきました。

心肺蘇生をしてからAEDを使用する手順になりますが、心配蘇生法は体験した事がなかったため、手順を覚えるのが難しく、また、非常に体力の要る作業という事が分かり、繰り返しの練習が必要に感じました。

今の日本は設置数もまだ充分とはいえない状況であり、尚且つ、その使用方法を理解している人が少ないために助けられる命をも未来につなげない事実があります。ですから、一人でも多くの人に命の大切さとその命は一人では守りきれないという事実を知って欲しいのです。

救命は医師でなくても出来るという事を知ってください。それが大切な家族や友達を守る第一歩です。

私は、このような講習が沢山行われる事を望みます。より多くの方に参加していただき大人だけでなく、子供たちも含め皆で考える事が肝心だと実感した有意義な講習会でした。

最後になりましたが、皆様には大変お忙しい中、ご寄稿いただきましてありがとうございました。今後ともご指導をどうぞ宜しくお願いいたします。



総務経営委員 小寺 知佳子